

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

# 地域医療連携便り 令和5年度 第2号

## 当院の理念

こどもからおとなまで「大切な命を守り、県民に貢献する」病院



<http://www.hosp.pref.okinawa.jp/nanbu/>

Please check the URL/link. 

〒901-1193

沖縄県南風原町字新川118-1

Tel:098-888-0123 (代)

FAX:098-888-1212 (地域医療連携室直通)

## 世界 ホスピス緩和ケアデー



緩和ケアチーム

緩和ケアとは、様々な病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

日本ホスピス緩和ケア協会では、「ホスピス緩和ケア週間」とし、普及啓発活動を進めており、当院でも緩和ケア週間イベントを開催しました！



こどもからおとなまで  
「大切な命を守り、県民に貢献する」病院

Okinawa perf.Nanbu Medical Center/Nanbu Child Medical Center



## 副院長紹介



副院長  
田中 斉

皆さまこんにちは。

令和5年度も後半に入り、ご挨拶がすっかり遅くなりました。今年度より副院長を拜命しております、田中 斉（ひとし）と申します。今をさかのぼることウン十年まえのことです。大学を卒業し県内病院で研修を経て、慶良間諸島のとある離島に勤務したことがあります。医師、看護師と事務員が1人の小さな診療所でした。

そこにある医療機器は心電図、レントゲンと血算生化学の簡易測定器というもので、フィルムのレントゲンを自分で撮影と現像をし、シャウカステン（もうこの言葉を知る医療人も少数派）にかざし、採血した検体を測定器に注入したり。時にてんやわんやしますが、小さな離島ですから大抵は、のんびりと診療をしていたものです。

とはいえど、人口500人に満たない島でも「早めに検査をしなくては」とか「（ヘリコプターで搬送するほど重症ではないが）急いで入院、加療が必要」という患者さんが月に4,5名は必ずいらっしゃいます。

当時は地域医療連携という言葉もまだ耳にしない頃。紹介状を作成したあと、まずは担当科の先生や検査の空きを確認するために沖縄本島の病院に電話をかけなくてはなりません。ベッドに空きがない、検査が1ヶ月後まで一杯している、科の先生の不在で診察ができない、などを告げられ、次の病院、さらにまた次の病院に当たる、ということもしばしばありました。その頃、那覇市与儀にありました県立那覇病院の救急外来にある看護師さんがいらっしゃいました。「すみません。こちら診療所の患者さんの入院と検査をお願いしたいのですが」と尋ねると「わかりました。病棟とロク先生の検査が今日明日受けられるか確認して折り返しますね」と明るいレスポンスを頂け、とても心強く思っていました。

ときは移り現在、地域における医療連携が重視され、多くの病院に連携室が設けられるようになりました。地域連携室という言葉を目にするたび、今でもあの看護師さんの電話の音が思い出されます。

当院の地域連携室が、病診連携を象徴してくれたあの看護師さんのように頼れる存在となるよう努めてまいります。そのためにも皆さまの要望やお声をこれからもお寄せくださいますよう、どうぞお願い申し上げます。

### 緩和ケア週間イベントの報告 & 緩和ケアチーム・看護外来の紹介



緩和ケアとは、体や心のつらさを和らげ生活を支えるためのケアです。10月は「ホスピス緩和ケア週間」と定められ、緩和ケアの普及啓発を目的に全国でも様々な取り組みがされています。当院でも10日から12日までの3日間、緩和ケア週間を開催しました。

多職種によるポスター展示と相談会、公開講座やアロママッサージを行いました。

当院では多職種による緩和ケアチームを設置しております。入院中の患者様やご家族様へ、よりよい生活を見据えた医療やケアの提供や相談などを行っております。また、看護外来を設置し外来通院中の方へ、がん看護専門看護師や化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師が相談を行っています。お気軽にご相談下さい。

相談窓口： 成人外来 屋比久 倫子（緩和ケア認定看護師）  
入退院支援室 伊 敷 桃子（緩和ケア認定看護師）



緩和ケアは、  
病院でも自宅でも、どこでも受けられます。  
つらさを我慢しないことが大切です。あなたが緩和ケアの中心です。





大動脈疾患の多くは無症状であることが多く、発見されるまでに数年以上かかることもあります。高血圧、喫煙などの動脈硬化を背景に大動脈瘤に進行するものと考えられています。健康診断や他疾患でのレントゲン、CT検査などで発見されることも少なくありません。

2020年(令和2年)10月に循環器病対策推進基本計画が策定され、健康寿命の延伸および循環器病の年齢調整死亡率の減少を目指すこととされました。循環器病対策を総合的に推進するなかで大動脈緊急症を含む大動脈専門治療はトピックスとされています。

当院では2023年4月に大動脈専門外来を始動しました。健康寿命の延伸、QOLの向上を目的とした診療と疾患の広報・周知を行うこととしました。2023年4月から大動脈専門外来を始動し、約半年の間で手術の必要となる患者様や他院での治療困難な患者様も診療しております。より多くの沖縄県民の命を守るとともに生活の質を向上できるように日々診療していくよう努力していきます。

## 対象患者

1. 「他院もしくは健診などで大動脈瘤を指摘された。」
2. 「大動脈の病気がないか検査を受けたい。」
3. 「以前に大動脈瘤の指摘はあるものの、現在、通院していない。」
4. 「以前に大動脈の手術を受けたが、通院できずに困っている。」
5. 「ご家族の中に大動脈の病気を指摘された。」
6. 「他院にて大動脈の手術をすすめられたが、迷っている。」



## 今年も開催しました☆ ハロウィン ツアー



10/31 (火)、入院中の子どもたちが仮装して院内の各部署をまわりお菓子をもらいました。いつもと違う院内の装飾やスタッフの仮装に子どもたちも大喜びでした！





# 放射線科

放射線技術科 核医学担当  
主任技師 金城 翔

皆さんは核医学検査または、RI（アールアイ）検査をご存知でしょうか。放射線を使った検査というとレントゲン検査やCT検査をイメージする人も多いと思いますが、ここではその一つである核医学検査について紹介させていただきます。

当院では今年1月に核医学診断用装置を更新しました。これまでより画質の向上と短時間収集を実現した核医学診断用装置です。検出器の感度を向上させる新しいコリメータとコントラストを向上させるソフトウェアを組み合わせ合わせて搭載し、撮像時間の短縮と病変描出能の改善を実現しました。



核医学診断用装置（NM830）GEヘルスケア・ジャパン株式会社製

それにより精度の高い検査画像を提供できるようになり、さらなる診断の手助けを行う事ができるようになりました。

核医学検査は放射性同位元素(Radio Isotope：ラジオアイソトープ)を用いた検査で、RI検査とも呼ばれています。他の検査では機械で放射線を発生し人体に当てることで体内の情報を得るのに対し、RI検査では放射線を出すお薬を注射し、目的の部位に集まったところをガンマカメラ（核医学診断用装置）と呼ばれる専用の機器で撮像することで臓器の機能を評価します。脳血流や心筋血流、腎臓や全身の骨、認知症の検査など、その範囲は多岐にわたります。検査する部位によってかかる時間は変わり、1時間程度で終わるものもあれば注射して数時間後から数日後に撮像するものもあります。診療放射線技師と看護師で完結する検査もありますが、中には医師が立ち会って行うものもあります。どうしても他の検査よりは時間を要することになりますが、臓器の機能を評価できる数少ない検査となっています。



## 放射線受託検査【受託可能検査】について

CT（単純）MRI（単純）RI（骨シンチ・心筋シンチ・肺血流シンチ・ガリウムシンチ・甲状腺シンチ・その他）※紹介検査となり、紹介状が必要となります。患者様のご紹介をお願いいたします。

当院、ホームページの**医療関係の方へ**から、**検査依頼**についてから検査の申し込み方法が記載されています。必要な書類を記載していただき、地域連携室へお電話ください。  
電話：098-888-1234（代表）  
FAX：098-888-1212（地連直通）

## 紹介・初診の予約・入院調整患者の紹介方法はホームページから

当院への紹介方法はホームページの**医療関係の方へ**、をクリックし**患者様の紹介**についてから閲覧できます。また、受診予約申し込み書・事前確認シートもダウンロード出来ます。

紹介の際は、当院地域医療連携室・入退院支援部門へ「**診療情報提供書（紹介状）**」「**受診予約申し込み書**」「**事前確認シート**」をFAXして頂くようお願い致します。（当院の外来への紹介の際は事前調整が必要となります）

FAXが届き次第、担当診療科医師と相談後直接患者ご本人と外来日の調整・案内を行います。外来予約日が決まりましたらFAXで紹介元の貴院様へお知らせ致します。診療科によっては、1週間ほどお時間がかかることもございます。円滑な連携にご協力をお願い致します。なお不明な点は遠慮なく地域医療連携室へご連絡ください。

地域医療連携室・入退院支援部門  
看護師長 諸見謝 真・富山 鈴華



<http://www.hosp.pref.okinawa.jp/nanbu/>